

教育を起点とした好循環のまちづくり 鹿妻たけひろ通信

2026年 8月発行 No.6



市議会の広報活動を通じて、地域や学校などから要望や提言を受けることがあります。反対に、市議会の方から、市に対して要望や提言をすることもあります。その要望は、何らかの問題を解消するために考えられたもののはずなので、要望が通るかどうかなどではなく、問題が解消されるかが重要なはずなんです。

もし要望が通らなかったとしても、その理由が、そもそも問題自体が認められなかったからなのか、問題はあるが要望した内容では解消しないと判断されたからなのか、あるいはほかにもっと有効な手段があるからなのかで、受け止め方は異なるでしょう。

しかし、要望する側において、「誰が何にどう困っているのか」という問題に対する認識があいまいな状態だと、「要望が通ったか否か」という結果でしか評価できません。

私自身も、市に対して要望や提言をする際には、「何をやってほしいか」だけでなく、背景にある問題、その原因、手段の有効性などについて考えることを大切にしています。



発行：鹿妻たけひろ後援会 発行責任者：鹿妻たけひろ
〒322-0076 栃木県鹿沼市上日向 307 電話 050-3188-1101

HP：<https://kazumatakehiro.com>

お友達登録
お願いします！



公式 LINE



公式 HP

議会での一般質問の概要

令和8年3月議会

・児童生徒の学習意欲向上および学習習慣の定着に関して、質問しました。

学習意欲・やる気はあるはずなのに学習習慣が身につかない、という場合、「楽しい授業をしたり褒めたりして、もっとやる気を高めよう」と考えがちです。教育行政の立場からすると、自然なことだと思います。しかし、学習に限らず、習慣というのは、気持ちの強さというより、実際に行動を繰り返すことによって定着する場合があります。

学習意欲が重要であることは確かですが、一方で、それだけに頼らず、学習習慣の形成は「習得できるスキル」であると、子どもや保護者に認識してもらうことも重要ではないかと思います。

令和8年6月議会

・マイナンバーカードの普及や利用状況等について質問しました。

人口減少などを背景に、行政の効率化が今後もますます必要となっていきます。

市民が必要とする行政サービスを継続的に提供できるよう、マイナンバー制度等のほかにも、効率化のためのシステム、技術を有効に活用していただきたいと思います。

・中学校部活動の地域展開の、背景や目的、現状等について質問しました。

地域展開の目的には、主に、教職員の長時間勤務の防止、少子化が進む中での活動機会の確保、の2つがあります。

地域展開ができたとしても、教職員が負担を受け持ち、長時間勤務が是正されないのであれば、制度としては本末転倒です。この課題を解決するには、「いかに教員以外の指導者を集めるか」という視点だけでなく、平日も含めた部活動のあり方、真に必要な業務の精選、(市の所管ではありませんが)適切な教員数なども含め、検討が必要ではないかと思います。



Youtube

鹿沼市議会チャンネル

一般質問等の動画はこちらからご覧ください